

## 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：北陸地方整備局 地域道路課  
担当課長名：長森 孝司

<b>事業名</b>	一般県道 <small>おおたみながわかないせん おぐらとうげどうろ</small> 多田皆川金井線（小倉峠道路）	<b>事業区分</b>	地方道	<b>事業主体</b>	新潟県						
<b>起終点</b>	自：新潟県佐渡市多田 至：新潟県佐渡市中佐為			延長	8.6km						
<b>事業概要</b>	<p>一般県道多田皆川金井線は、佐渡市多田から佐渡市金井に至る延長約26.6kmの主要幹線道路であるほか、小佐渡地区を横断する生活基盤を支える重要な路線である。小倉峠道路は、幅員狭小箇所を解消し、集落間を結ぶ延長8.6kmの2車線道路である。</p> <p>本事業は、当該区間の狭隘箇所の拡幅及び落石危険箇所を回避するため改良を行うものである。</p>										
H8年度事業化	都市計画決定なし	H8年度用地着手	H9年度工事着手								
全体事業費	約151億円	事業進捗率	19%	供用済延長	2.3km						
計画交通量	2,200台/日										
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C (事業全体)※ 1.3 (残事業) 1.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 73/74億円 (事業費：71/72億円 維持管理費：2/2億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 97/97億円 (走行時間短縮便益：94/94億円 走行費用減少便益：3/3億円 交通事故減少便益：0/0億円)	基準年	平成17年						
<b>事業の効果等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国土・地域ネットワークの構築（大型車のすれ違い困難区間の解消）</li> <li>災害への備え（防災点検要対策箇所の解消が見込まれる）</li> </ul>				他7項目に該当						
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>	<p>一般県道多田皆川金井線は、地域交流の促進、消防15分圏・救急30分圏の拡大等に重要な役割を果たすことが期待されており、佐渡市「新市建設計画」の骨格をなす幹線道路として事業促進が望まれている。</p>										
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b>	特になし										
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>	<p>現在までに2.3kmを部分供用済。残事業は小倉トンネル(L=2.6km)を含むL=6.3kmである。</p>										
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b>	<p>残土捨て場の確保に時間を要したが、H17年度に残土処理場の確保が完了したため、今後の整備促進が見込まれる。</p>										
<b>施設の構造や工法の変更等</b>	特になし										
<b>対応方針</b>	事業継続										
<b>対応方針決定の理由</b>	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。										
<b>事業概要図</b>	<p>位置図</p> <p>事業箇所</p> <p>凡例</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>供用中</td><td>——</td></tr> <tr><td>再評価箇所</td><td>▨</td></tr> <tr><td>うち供用中</td><td>▨</td></tr> </table> <p>至金井 小倉小① 小倉川ダム 中佐為拡幅 L=1.0km 小倉峠B.P② L=2.0km 小倉峠B.P L=4.3km 小倉峠道路 L=8.6km 至羽茂</p> <p>小倉川 小佐渡地域 男神山 女神山 河内川 松ヶ崎小 至両津 松ヶ崎海水浴場 至多田 多田海水浴場 至赤泊</p> <p>(主) 佐渡縦貫線</p>					供用中	——	再評価箇所	▨	うち供用中	▨
供用中	——										
再評価箇所	▨										
うち供用中	▨										

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 事業全体：区間の一部に部分供用があるため、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を実施。